

平成28年度「あつたか地域サポート事業」

・・・・・事業概要・・・・・

(事業の内容)

1 サロンサポーター事業

サロン等地域交流事業の担い手育成事業

(現在サロンに取り組んでいる人の支援、今後取り組んでくれるボランティアの育成事業)

対象・・・上峰町、みやき町及び周辺住民の方々

会場・・・特別養護老人ホーム野菊の里 1階交流スペース

時間・・・ほぼ半日（10時～12時） 回数4回

①10月12日

○福祉のまちづくり事業・高齢者SOSネットワーク事業

講師・・・上峰町健康福祉課長

・・・・上峰町での取り組みについて説明・紹介

○認知症講座「認知症を家族と地域で支える」

(講師認知症の人と家族の会 森久美子さん)

在宅で認知症のお母さんを15年間介護され、現在は、自らの経験をもとに認知症のご家族の方の支援活動（認知症の人と家族の会 会長）をされている。これらの経験に基づき日々の生活を通して、「知恵や工夫で、介護の方法や気持ちがどう変わっていくのか」を中心に参加者の皆さんにわかりやすく話していただいた。

参加者数・・・48名

②12月14日

○みやき町地域サロン事業の取り組み

講師・・・みやき町社会福祉協議会事務局長

・・・・みやき町のサロン事業の取り組みについて説明・紹介

○介護予防講座及び介護予防体操 緑生館・・・熊谷先生、北島先生

講師の2人は、医療福祉専門学校緑生館の考案による「とすっ子体操」を鳥栖市で地域のサロンを中心に、介護予防体操を広げている。「年をとっても元気に暮らす術、とすっ子体操と暮らしについて」をテーマに参加型の介護予防講座を行った。

参加者数・・・45名

③1月18日

○介護保険制度の仕組み

講師・・・鳥栖地区広域市町村圏組合地域支援係

・・・介護保険事業の仕組み、介護予防事業の取り組みについて説明・紹介

○アロマでストレスケア&ふれ愛講座 アロマセラピスト中尾朱実さん

アロマテセピストの中尾先生に、ストレスケアについてお話しいただいた。子育てや介護は、時には過重なストレスを抱えることがある。ストレスは、体に変調をきたし、疲れているのに眠れない。さらには様々な病気の原因にもなる。講義は、お話と実践、参加という形で進めていただき、いかにして脳をリラックスさせるか、その仕組みと方法をわかりやすくお話ししいただいた。

参加者数・・・42名

④2月15日

○講演 「いのちって、すごい！」・・・フリーアナウンサー 副田ひろみさん

読み聞かせの指導をライフワークとしてボランティアで行われている。その中で出会った方々（高齢者の方や児童）を通して「豊かな人生とは何か？」を問われた。また、長男を亡くした経験や重度の障害を持って生まれた孫の成長を通して「命とは何か？」を参加者の皆さんと考える講演になる。

○「地域福祉を考える・・・老いる地域社会」・・・佐賀新聞 富吉賢太郎さん

佐賀新聞連載の「たそがれの時代」を通して、老いる地域社会で、地域で支えあう地域の知恵。そして、みやき町の養護老人ホーム南花園に入所されている方との氏との交流を通して、人が支えあって生きていくことの大切さを話された。

参加者数・・・50名

2 サロン等地域支援事業

地域のニーズに合わせたオーダーメイドのサロンリーダー派遣事業

サロン、交流事業に当該法人の職員（医師・看護師・介護士・管理栄養士・社会福祉士・機能訓練指導員等）を派遣する。

①平成28年度きずなサロン支援事業（支援地域については別紙）

6月～年10月までの10回

講師 野菊の里介護福祉士、看護師

地域きずなサロン事業への支援（健康体操、レクレーション）

各地区的公民館において 10時～12時のうち、30分間

別紙きずなサロン予定表のとおり

6/23 日 6/30 日 7/1 日 7/28 日 8/4 日 8/25 日

9/8 日 9/15 日 9/29 日 10/27 日

参加者数・・・1回10名～20名の参加

②地域介護予防事業「講演会」

7月19日 9時40分～10時20分 上峰町老人センター「おたっしゃ館」

社会福祉法人野菊の里（夢の里）薬剤師松田陽恵

「薬との上手なつきあい方」 参加者28名

③みやき町老人クラブ連合会勉強会

11月25日 10時～11時30分 みやき町農村環境改善センター

社会福祉法人野菊の里（夢の里）医師 岸川由美子

「身近に潜む危険と、認知症のおはなし」 参加者69名

3 サロン会場の提供事業

地域の高齢者が集まる場所を提供するとともに、介護予防事業や在宅介護で必要な事の実習や研修事業を行う。地域ニーズに応じて、地域のサロン事業等を支援していく。

①サロン会場の提供事業

10月14日 野菊の里研修室 10時～12時（実習 嘔下体操含む）

上峰町上米多地区住民研修会 参加者 29名

I部「美味しく食べて元気に長生き・・食事の重要性」

社会福祉法人野菊の里（夢の里）管理栄養士 山崎敏子

II部 「いつまでもおいしく食べましょう」佐賀県歯科栄養士会 山下真弓

②鳥栖地区老人クラブ女性部研修会

2月21日 野菊の里研修室 14時～15時30分（実習 介護予防体操含む）

鳥栖地区老人クラブ女性部 参加者 26名

「介護保険の基礎知識と施設サービスの仕組み」講師野菊の里施設介護課長 三好真奈美

4 本施設の交流スペースを地域に開放された交流の場として提供

地域の方々に気軽に足を運んでいただける施設としてのパブリックスペースづくりに取り組む。作品等の展示の場として提供するとともに、地域住民が気軽に足を運んでいただけるカフェ・ギャラリーとして開放し、地域住民の交流の場づくりを実施する。

①地域交流事業・・・1階交流スペースを開放して、各種展示会を行う。また、施設と地域

との交流事業である「ふれあい夏祭りに」に独居世帯の高齢者の方を招待する。

4回の展示会

5 地域の高齢者世帯への支援

町と協議して具体的な事業を検討することにしていたが、個人情報の関係もあり、社会福祉協議会が行っている高齢者世帯への配食事業の際、その日のメニューに応じた管理栄養士からのアドバイスカード付けた。また、行事についての案内を適時添付して、気軽に施設に足を運んでもらえるよう努めた。

①地域高齢者（一人暮らし）への支援（20人～30人）

上峰町地域の高齢者（独居）への食事及び栄養についてのアドバイス

（上峰町の配食サービス利用者へ毎日曜日配布）6月～29年3月

野菊の里管理栄養士 江口美保

（事業の効果）

上峰町、みやき町の協力により、4回の講演を含め、計画した事業はすべて実施した。講演会は、1回の参加で、40名～50名の参加があった。地域貢献という社会福祉法人の役割もあり、町、町社会福祉協議会との連携が強まった。また、事業目標の一つでもある施設が地域交流の場になっていく雰囲気が形成されつつある。事業の総括講演として佐賀新聞の特集「たそがれの時代・・老いる地域社会」を基に「地域福祉を考える」というテーマで、当時の編集局長の富吉氏を講師に迎え、地域福祉をみんなで考え、そして今、何をなすべきかを考えた。富吉氏の話を通して、今年度の本法人のこの取り組みは、地域の高齢化が進んでいく中で、「頼れる地域づくり」ためには必要であるとの意見をいただき、参加者から、次年度継続についての意見があった。事業の総括としては、高齢者を支えるリーダーの育成事業としては、まだまだであるが、地域交流の場が立ち上がりつつある。

（今後の目標）

この事業の目的である「高齢者を支えるまちづくり」を担う新しいリーダーを育成していくためには、シニア層の開拓（掘り起こし）をし、そのシニア層が、地域が支えあう媒体となり、そしてそれが、高齢者の活躍の場、生きがいづくりとなる仕組みを構築していかなければならない。そのために、もっと地域に出て行き、地域の方々とのつながりの輪を今まで以上に広げていく。